

3 2015年度及び2016年度司書課程に関するアンケートについて

司書課程担当
早瀬 均

はじめに

2015年度及び2016年度に司書課程の受講を開始した学生に対するアンケート調査の結果を以下に示す。2016年版の年報に記載した調査結果の年度が間違っていたため、2015年度と2016年度について改めて掲載するものである。

2015年度

1 アンケート実施概要

(1) 時期 平成27年4月14日(金)

(2) 対象 「図書館概論」受講生

①対象者数 41名

②内訳 2学年 28名

3学年 12名

4学年 1名

(3) 設問

例年どおり、設問は、LIPER¹⁾のものを参考にしながら、次の五つについて実施した。

①司書課程を履修する主たる理由

②司書資格を取得する主たる理由

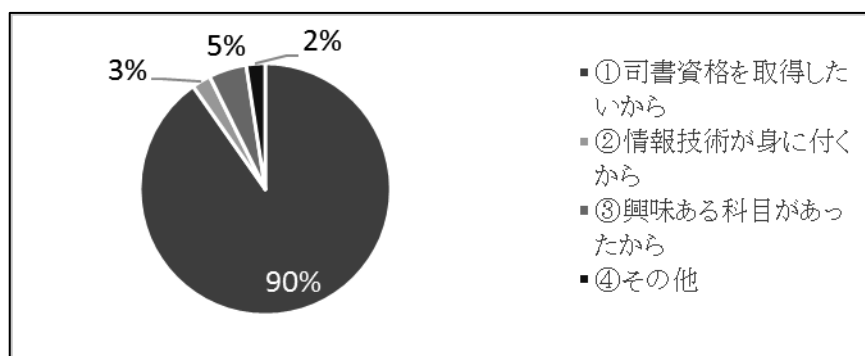
③司書課程の履修あるいは司書資格の取得を考えた時期

④司書課程を履修することでどんな知識が得られると考えているか(三つまで選択)

⑤将来の職業との関係

2 調査結果

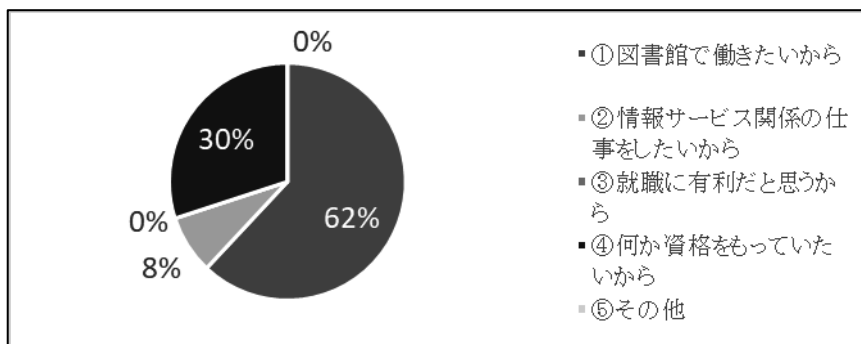
(1) 設問1 司書課程を履修する主たる理由



この設問は、LIPERにはなかったものである。①の「資格取得を取得したいから」が殆どであるが、「情報技術が身に付くから」「興味ある科目があったから」を選択した学生も

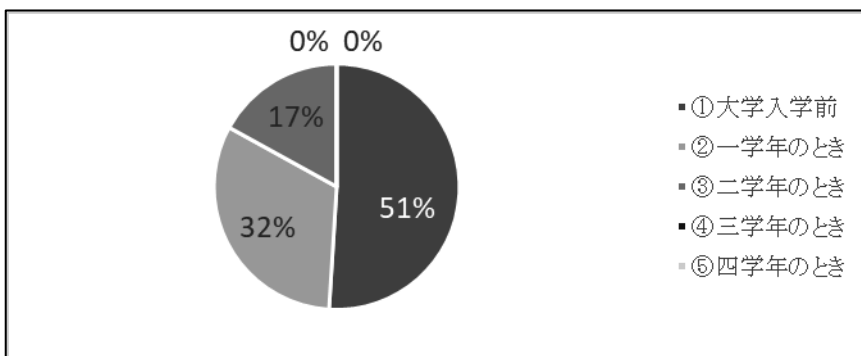
いた。

(2) 設問2 司書資格を取得する主たる理由 (設問1で①と回答した人)



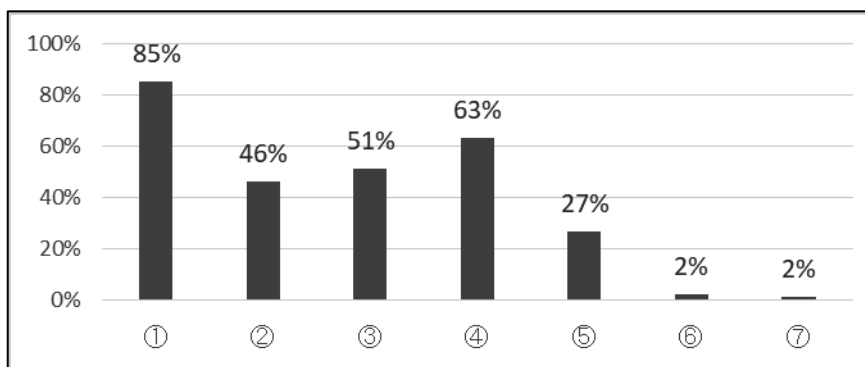
①「図書館で働きたい」(62%)が一番多く、②「何か資格をもっていたいから」(30%)が続いている。本学は、①を選択する学生が多いのが特徴だが、2015年度はとくに顕著である。

(3) 設問3 司書課程の履修あるいは司書資格の取得を考えた時期



①「大学入学以前」(51%)、②「一学年のとき」(32%)、③「二学年のとき」(17%)の順である。大学入学以前に履修することを決めている学生が半数以上であり、LIPER 報告の全国平均(36.5%)を大きく上回っている。

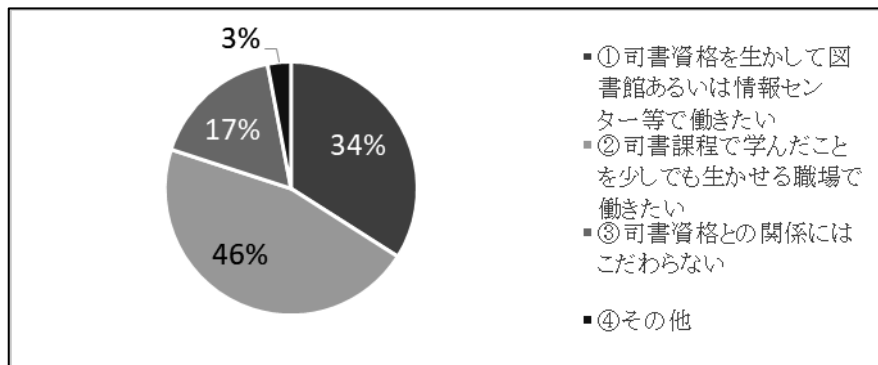
(4) 設問4 司書課程を履修することでどんな知識が得られると考えているか。三つまで選択可。



- ①図書館の管理運営 ②資料・メディア・デジタル情報資源 ③資料の分類や目録
- ④図書館サービス ⑤情報の探索・検索 ⑥学術情報流通
- ⑦情報リテラシー

①「図書館の管理運営」が最も多い（85%）のが2015年度の特徴である。④「図書館サービス」（63%）、③「分類や目録」（51%）、②「資料・メディア」、⑤「情報の探索・検索」（27%）の順である。

（5）設問5 将来の職業との関係



②「司書課程で学んだことを少しでも生かせる職場で働きたい」（46%）が一番で、①「図書館あるいは情報センターで働きたい」は34%であり、昨年度（33%）とほぼ同じであった。

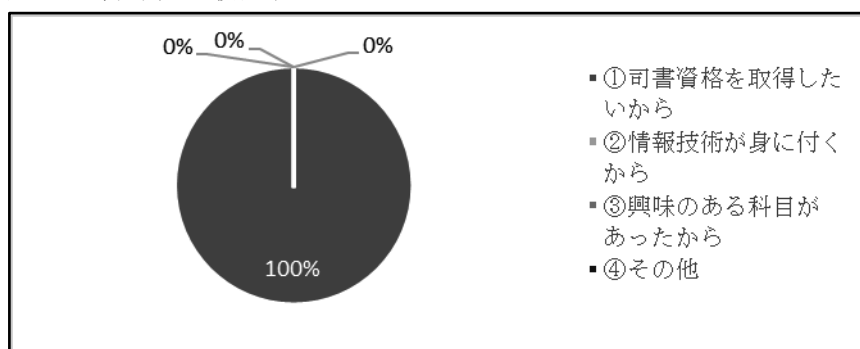
2016 年度

1 アンケート実施概要

- (1) 時期 平成28年4月15日(金)
- (2) 対象 「図書館概論」受講生
- | | |
|-------|---------|
| ①対象者数 | 25名 |
| ②内訳 | 2学年 18名 |
| | 3学年 7名 |
- (3) 設問
上記2015年度と同様の設問を設定した。

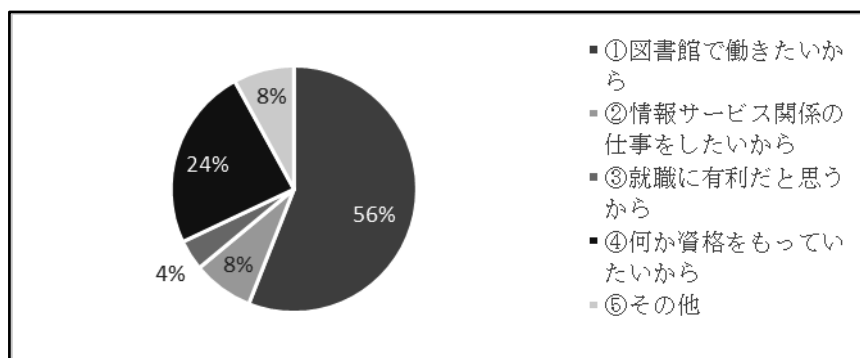
2 調査結果

- (1) 設問1 司書課程を履修する主たる理由



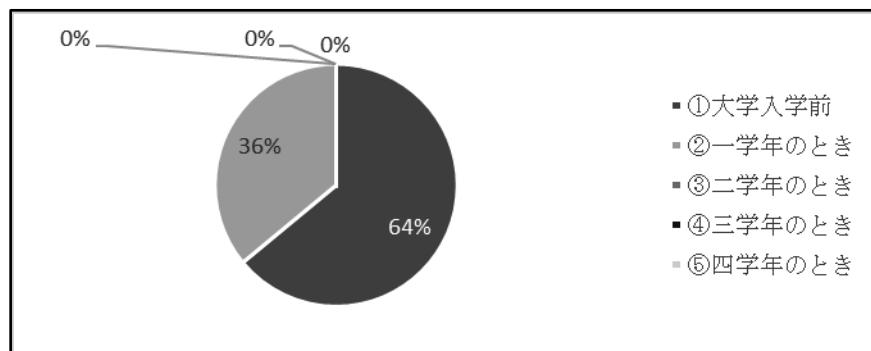
2016年度は、全員が①の「資格取得を取得したいから」と回答した。

- (2) 設問2 司書資格を取得する主たる理由（設問1で①と回答した人）



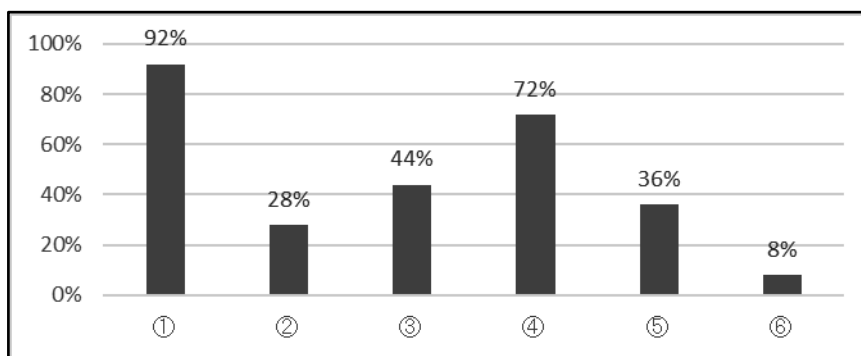
「図書館で働きたい」(56%)が一番多く、「何か資格をもっていたいから」(24%)が続いている。他に「情報サービス関係の仕事」(8%)、「その他」(8%)、「就職に有利」(4%)の順となっている。

(3) 設問3 司書課程の履修あるいは司書資格の取得を考えた時期



全員が①「大学入学以前」(64%)、又は②「一学年のとき」(36%)と回答した。大学入学以前に履修することを決めている学生が6割以上であり、これは昨年度より13ポイント増えた。LIPER報告の全国平均(36.5%)も大きく上回っている。

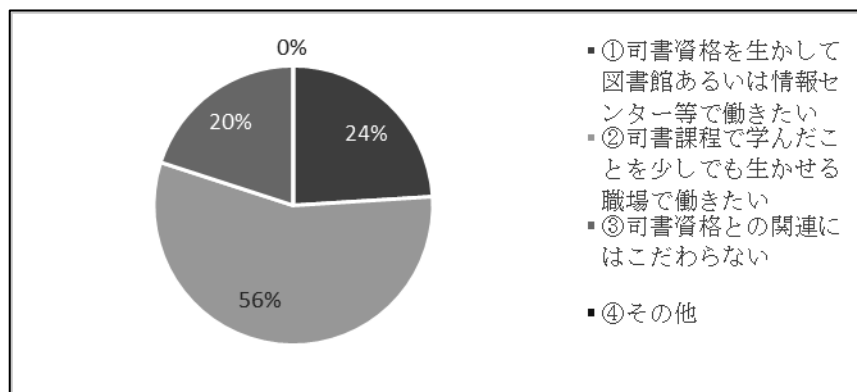
(4) 設問4 司書課程を履修することでどんな知識が得られると考えているか。三つまで選択可。



- ①図書館の管理運営 ②資料・メディア・デジタル情報資源 ③資料の分類や目録
 ④図書館サービス ⑤情報の探索・検索 ⑥学術情報流通

①の「図書館の管理運営」が最も多く(92%)、昨年度を7ポイント上回り、2012年度以降で一番多かった。④「図書館サービス」(72%)、③「分類や目録」(44%)、⑤「情報の探索・検索」(36%)、②「資料・メディア」(28%)、の順である。

(5) 設問5 将来の職業との関係



②の「司書課程で学んだことを少しでも生かせる職場で働きたい」(56%)が一番で6割近くを占める。一方、「図書館あるいは情報センターで働きたい」は、24%であり、昨年度に比べて10ポイント減少した。2013年度と比べると約23ポイント減少している。

「司書資格を取得する主たる理由」の回答とは、異なる結果となっているが、我が国における図書館の労働市場を考えればいたしかたのないところであろう。

【参考文献】

- 1) 竹内比呂也ほか. 司書・司書教諭資格取得希望学生の意識についての調査. 日本図書館情報学会. http://www.jslis.jp/liper/report06/ed_2005_takeuchi.pdf, (参照 2017-07-07).